

GenUpdater 1.0 を使った本体のシステム・アップデート

はじめに：

GenUpdater Version 1.0 は GenEdit Version 1.0 インストール時に同時にインストールされる、アップデート・ソフトウェアです。DigiTech の Web サイト (<http://www.digitech.com>) から提供される最新のアップデート・ファイルを、本ソフトウェアを使ってお使いの GNX1、GNX2、Genesys3 へ転送し、本体のシステム・ソフトウェアを最新バージョンへアップロードします。

本ソフトウェアを利用して GNX1、GNX2、Genesys3 のシステムをアップロードするためには、Windows95/98/ME/2000/NT が動作する PC/AT 互換機他、MIDI インターフェイスが必要となります。

アップロードの準備：

GenUpdater Version 1.0 を起動する前に、PC/MIDI インターフェイス /GNX1, GNX2, Genesys3 を正しくセットアップしてください。

PC および MIDI インターフェイスはそれぞれのマニュアルを参照し、正しくセットアップし、可能であれば動作確認を行ってください。

MIDI インターフェイスの MIDI アウトと GNX1, GNX2, Genesys3 (以後、本体と記載) の MIDI イン、MIDI インターフェイスの MIDI インと本体の MIDI アウトを直接接続します。MIDI インターフェイスと本体は必ず直接接続してください。他の MIDI 機器が挿入されている場合正常に動作しません。

アップロードの手順 Windows2000/ME の場合：

未検証につき、今しばらくお待ちください。

アップロードの手順 WindowsNT の場合：

弊社では検証いたしません。

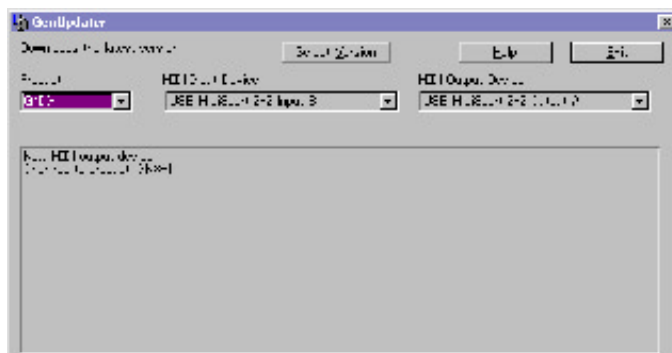
アップロードの手順 Windows95/98 の場合：

“スタートアップ→プログラム→DigiTech→GenUpdater 1.0” を実行します。

Product ポップアップメニューから製品を選択します。ダイアログ下部には Changed to product: xxxx と表示されます。

MIDI Input Device ポップアップメニューから MIDI インポートを選択します。ポートが正常に認識されればダイアログ下部に New MIDI input device と表示されます。

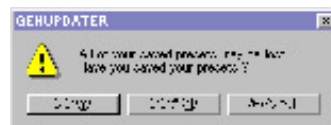
MIDI Output Device ポップアップメニューから MIDI アウトポートを選択します。ポートが正常に認識されればダイアログ下部に New MIDI output device と表示されます。



Select Version ボタンをクリックします。

アップデートを行うと現在のユーザープリセットが失われる旨の警告ダイアログが表示されます。

ユーザー・セッティングのバックアップを必要とするなら“**No**”あるいは“**Cancel**”をクリックして脱出し、後述の手順に従ってバックアップの制作を行ってください。



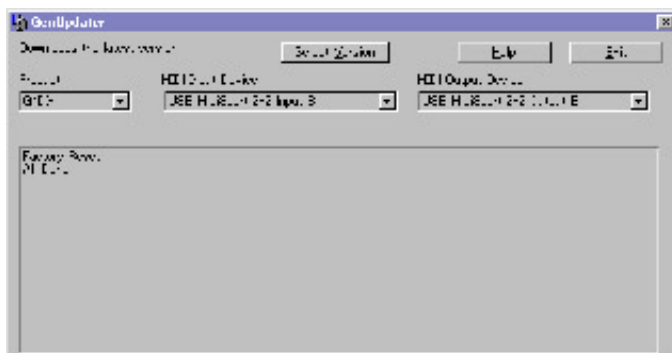
そのままアップデートを実行するのであれば“**Yes**”をクリックしてください。

アップデート・ファイル選択画面に変わります。使用する製品のアップデート・ファイルを選択して実行します。(例：GNX1 ならば、GNX1_13h04 と表示。“_”の後ろはバージョンナンバーを現します。13 ならばバージョン 1.3)

アップデートには数分かかります。

ダイアログ下部に All Done が表示されればアップデート完了です。

Exit ボタンをクリックして GenUpdater 1.0 を終了します。



アップデート完了後、製品が自動的にリセットされます。GNX1 および GNX2 ではエクспレッションペダルの再キャリブレーションが必要になります。

TOE DN と製品のディスプレイに表示が出たらペダルを爪先側に動かし 2 フットスイッチを押します。

TOE UP と製品のディスプレイに表示が出たらペダルを踵側に動かし 3 フットスイッチを押します。

VSWITCH と製品のディスプレイに表示が出たらペダルを爪先側に適度な力で押しつけます。

以上でアップデート作業はすべて完了です。

アップデート前にユーザー・データのバックアップを制作する：

GenUpdater を終了します。

スタート→プログラム→DigiTech → GenEdit 1.0 を実行します。

GenEdit が起動し、自動的に製品との接続をチェックします。

製品のバージョンが低い場合下の警告ダイアログが表示されます。

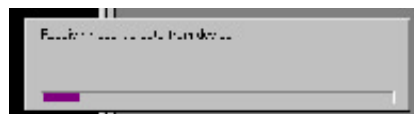


“OK” をクリックします。

“Device” メニューから “Backup Settings” を実行します。



製品のユーザー・データすべてをインポートします。作業には数十秒かかります。



インポートが完了すると保存ダイアログに変わります。任意の名称を付けて保存します。

GenEdit を終了します。

前ページの手順に従い、ファームウェアのアップデートを行います。

もう一度、GenEdit を起動し、“Device” メニューから “Restore Settings” を実行します。



現在のセッティングが失われる旨の警告ダイアログが表示されます。“Yes” をクリックします。



先程保存したファイルを選択し実行します。

データ転送の転送には数十秒かかります。

データ転送が完了すると、製品はアップデート前の状態に戻ります（ただし、V-Switch 感度は戻すことができないので再設定を行う必要があります）。